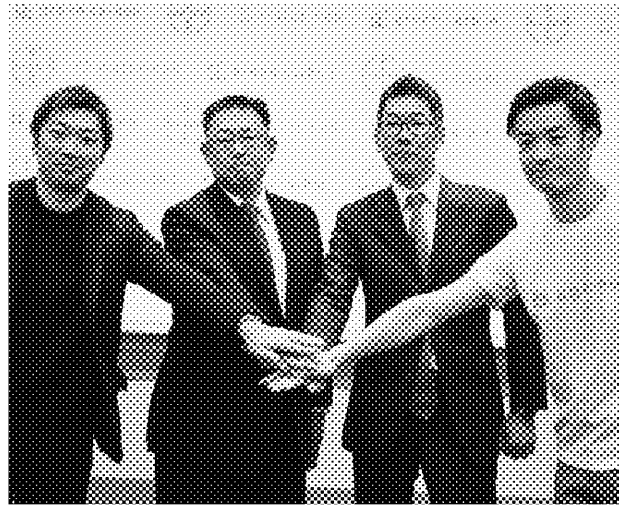


バイエルクロップサイエンスなど3社



「当社は農業、ウオに新たな価値を提供す
ターセルはアグリノるバリューチェーンの
ートによる支援、グリ構築を志向する。
ーンカーボンはカーボ 農業を取り巻く環境
ンクレジット。それぞ は厳しい。就業人口の
れの強みをリンクさせ 減少と高齢化が進む一
農家の最大価値を高め 方、大規模農家の割合
ていく」。バイエルク 農業を革新する新たな
ロップサイエンスの仁 ソリューションを展開
木理人執行役員はこう する（左からグリーン
力を込める。3社は2 カーボンの大北潤社
030年を念頭に生産 長、バイエルクロップ
プロセスの可視化など サイエンスの仁木執行
を進め、農家と消費者 役員、坂田社長、ウオ
社長）ターセルの渡辺拓也

農業の価値創造加速

バイエルクロップサイエンス（東京都千代田区、坂田耕平社長）は、ウオターセル（新潟市中央区）、Green Carbon（グリーンカーボン、東京都港区）と農家の生産性向上や環境負荷低減の支援に向けた連携を加速する。人手不足など課題の多い農業向けに、3社の強みを生かしたソリューションを展開。持続可能な農業の実現に向けて取り組む。
（山岸渉）

デジタル化・脱炭素 支援

が増加。ノウハウの伝 田から水を抜いて干す
承や環境負荷の低減ニ 「水田中干し」の期間を
ーズ拡大など課題は多 延長しつつ、雑草防除
い。足元では、デジタ を最適化。これにより、
ル化によるデータの可 メタンガスの排出量削
視化などの重要性が高 減やカーボンのクレジッ
まっている。
こうした中、バイエ 3社は今後、もう一
ルクロップサイエンス 段の連携強化を打ち出
が力を入れているのが す。まず水稲向けで強
デジタルツールを使 みを生かし、農家の生
い、ほ場に適した除草 産効率化などを支援す
剤や量などを提案する 新たなソリューション
「水田雑草テラメ ンを展開していきたい
イド防除」だ。最適な 考えだ。水田中干しの
雑草防除の処方を出す 延長だけでなく、地域
同社のアプリケーショ への展開も検討。さら
ン「my防除」のほ に他のパートナーとの
か、4種類の除草剤 連携へと広げていくこ
「単一成分剤」を生か とも重要と捉える。
したものだ。 バイエルクロップサ
ウオターセルやグ イエンスの坂田社長は
リンカーボンとの連 「日本の農業が新たな
携も進めている。一般 チャプターに立った24
提供を開始したmy防 年に、3社で新たな未
除とウオターセルの 来を提案できる機会を
営農支援アプリ「アグ 得て誇らしい」と自信
リノート」を活用し、 を示す。新たな農業の
農家の作業効率化など 価値創造を加速してい
を支援する取り組みは く構えた。

その成果の一つだ。
また、グリーンカー
ボンはカーボンのク
レジット創出に向けた新
たなパートナーシップ
契約を締結した。同社
のカーボンのクレジット
の創出・登録・申請・
販売までを支援する
「Agreen（アグ
リーン）」と組み合わせ
ることで、一時的に水